



# ダイハツ ミラ イース

## 専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- \* 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

## シートカバー装着前に必ずお読み下さい

- ・本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）してお客様のシートパターンに合うことを確認して下さい。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何等かの支障があった場合はお買い上げ頂いたお店、または弊社までご連絡下さい。  
事前に連絡なく装着された後での製品に対しての返品・交換等につきましてはお受け出来ません。お客様の注文間違いによつての製品間違いの返品・交換等は商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承下さい。
- ・本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取り付けを行うことで生地が伸び、シワは解消できますが、まれに跡が残る場合があります。予めご了承下さいませようお願いします。
- ・本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように作成していますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。



### 警告

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）。そこは他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。取り付け時には過度の力がかからないようご注意ください。また、シートカバーを正しく取り付けないと衝突した時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

\*サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全規格がないため自社独自の対応規格となります。

## 本製品に関する注意事項

- ・本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- ・本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色が生じることがあります。また高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビの発生が生じることがあります。
- ・本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残ってしまう場合があります。装着されてから1~2週間ほどで臭いが緩和されてきますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間ほど保管されてから装着をして下さい。また本製品は塩化ビニルレザーを使用していますので燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で燃やさずに必ず各自治体の処理方法に従って下さい。

## パーツオーダーについて

- ・どうしても取れない汚れや破損に対して、当社では各部品単品での販売も承っております。但し、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承下さいませようお願いします。

## 生地別メンテナンス方法

- ・ 生地別メンテナンス方法を記載していますが、シートカバーが汚れてしまった場合はすぐに乾いた布などで拭き取って下さい。時間が経過してしまうと下に記載しているメンテナンス方法でも汚れが取れない恐れがあります。  
\* 本製品は水洗いやドライクリーニングなどの洗濯は出来ません。

### PVCレザー部分

- ・ 中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に付けて拭き取って下さい。シンナー等の有機溶剤は生地を傷つけたり、ツヤがなくなる恐れがありますので使用しないで下さい。

### 本革・ECT革生地部分

- ・ 乾いた布等で表面を軽く拭いて下さい。または、市販されている本革クリーナーを目立ちにくい部分で試されてからご使用下さい(中には合わないものもあります)。クリーナーをご使用後は乾いた布等で拭き残しのないように必ず拭き取って下さい。また、溶剤類のほか漂白剤は使用しないで下さい。

### スエード・アルカンターラ生地部分

- ・ 40度程度のぬるま湯を布に染み込ませて固く絞り、全体を拭いて下さい。(毛羽が強く乱れないように拭き取ることが大切です。)その後、シートが乾いたことを確認してからエチケットブラシで毛並を整えるようにブラッシングをして下さい。このお手入れは月一回くらいの頻度で行なうと効果的です。

## シートカバー装着時に関する注意事項

- ・ 当社のシートカバーはフィッティングを重視して作っています。カバー全体に均一に力をかけて取り付けて下さい。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けてしまったり、切れてしまう恐れがあります。
- ・ シートカバー（スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECT・アルカンターラセクション）の背もたれ上部分に加工しているヘッドレスト穴は、生地が伸びにくい為、無理に入れ込もうとすると破れてしまう恐れがあります。
- ・ シート本体のパーツ（プラスチック部品やアームレスト等）を取り外す時に無理に外そうとするとシート本体に傷がついたり、パーツ自体が破損してしまう恐れがあります。
- ・ シートカバーを取付けている最中にシート本体の金属部分やプラスチック部分に接触して怪我をする恐れがありますので、十分に注意して作業を行って下さい。取付け中の事故に関して弊社で一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- ・ 取付説明書の順番にカバーを付けて頂くと取付作業がスムーズに進みますので当社では順番通りの装着をオススメしています。また、カバーを取り付ける際には明るくて、地面が平らな広いスペースで、車内のライト類を消して（長時間扉が開いているとバッテリーがあがったり、弱る原因になるため）取り付けを行なって下さい。
- ・ 当社シートカバーはフィッティングを重視して作っているため、カバーを一度取り付けた後、元に戻した際(カバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承下さい。
- ・ 製品の改良等により本取扱説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合がございます。その際はご迷惑おかけいたしますが弊社までお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

# シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属しておりません。



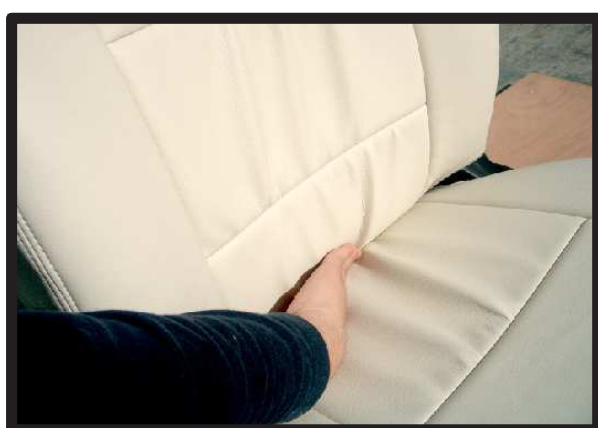
①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせてながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。  
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができれば、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

# コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



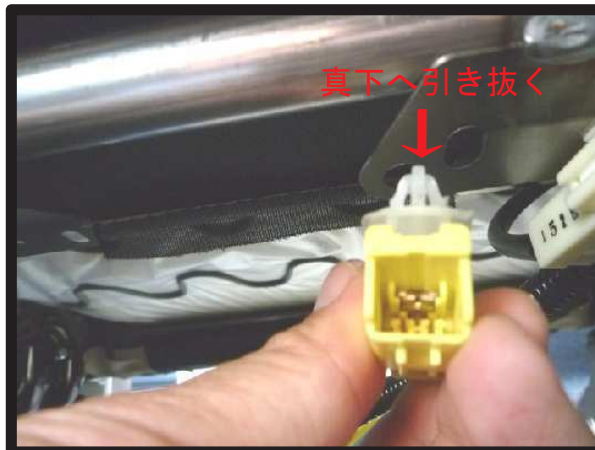
- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

# 1 列目座面

※運転席側・助手席側を一緒に説明をしていますが、一部固定方法が異なります。



- ①始めに図のシート裏にゴムで引っかかっている生地を外します。  
※図の部分を外すために②から⑥の内容を確認下さい。



- ④シート裏に固定されているコネクタの受け側を、真下へ引き抜くように外します外します。



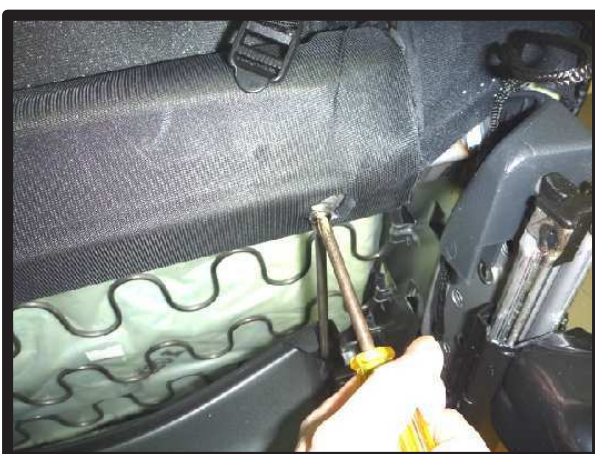
- ②運転席側は①の生地を外すには、黄色の配線がゴムに絡んでいるため一時的に配線を外します。



- ⑤ゴムに絡んでいた配線が外れて、①の生地が外せます。



- ③コネクタを外します。



- ⑥助手席にシートアンダートレイが装備されている車輛は、①のゴムがトレイのレールに引っかかっている場合があります。その場合はドライバーを使用して、レールを固定しているネジを、シート背面側だけ外してゴムを外して下さい。



⑦シートを最大に上げた状態でカバーの取り付けを行います。



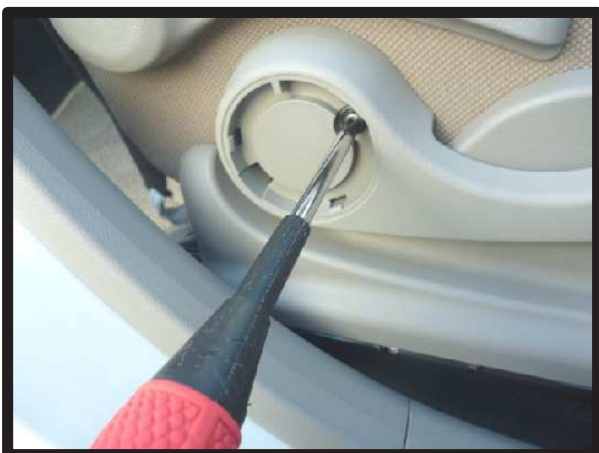
⑩シートリフターのレバーが外れます。



⑧シートリフターのレバーを外します。  
丸いプラスチックを外します。



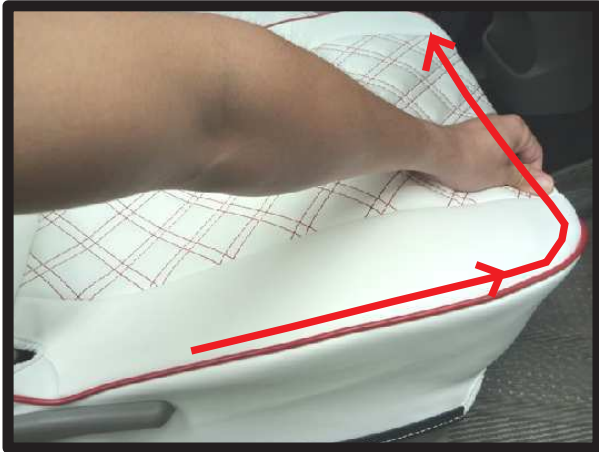
⑪カバーをかぶせます。  
始めにリクライニングレバーをカバーの加工穴に通します。レバーの根本にしっかりと生地を入れ込みます。



⑨ネジをドライバーで外します。



⑫生地伸びを利用して、ゆっくりとレバーを抜き出します。作業は慎重に行ってください。カバーの加工穴からシートリフターの軸を出します。



⑬始めに通したリクライニングレバー部分を軸として、カバーを矢印方向にかぶせます。



⑭カバー外側に付いているマジックテープのベルトを、図のようにシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます（3本）。



⑮背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



⑯入れ込んだベルトを、シート裏から引き出します。



⑰入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑱ベルトはシート裏の金属部分に、引っかけて折り返し固定します





⑱シートリフターの軸下部分のカバーに、ゴムが3本(①②③)付いています。



㉒②のゴムは図のようにシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。入れ込んだゴムをシート裏から引き出して、①のゴムと同様にS字フックで固定します。



㉔①のゴムをシート背面に引き出して付属のS字フックを取り付けます。



㉓③の短いゴムは、図のシートのプラスチック部を持ち上げて浮かし、その中にある丸い穴にS字フックで引っかけて固定します。プラスチック部は力をかけ過ぎると破損する可能性がありますので、ご注意ください。



㉕取り付けしたS字フックを、シート背面からシート裏の金属部分に引っかけて固定します。



㉔シートリフターのレバーを元通りに戻します。運転席側のカバー外側面は図のようになります。



②⑤ 助手席側の外側面は、カバー外側面のプラスチックの板を、シートとシート土台のプラスチック部の隙間に入れ込みます。



②⑧ フックは②⑥でめくり上げた生地の内側にあるシートのフチにはめ込み固定します。



②⑥ シート内側面の矢印の生地をめくり上げます。



②⑨ カバー内側面の後方側です。プラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



②⑦ カバー内側面に付いているフックを図の状態から生地と共に折り返します。



③⑩ カバー前方に付いているベルトを、シート裏を通してシート背面へ回します。



③① ベルトはシート裏にある、鉄のバーの上を通します。



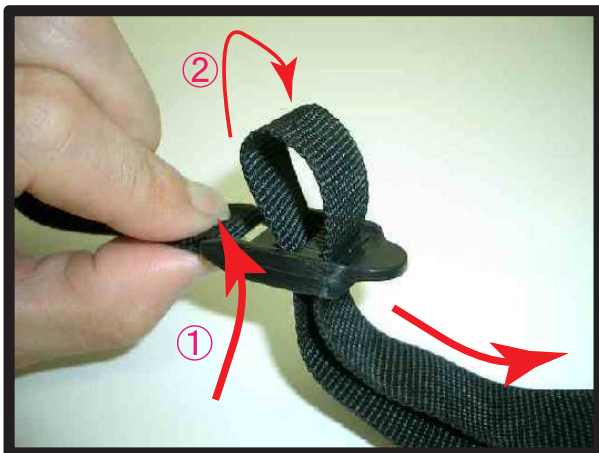
③④ カバー両側面の後部に付いているゴムを、シート背面からS字フックでゴムをつなぐように固定します。



③② シート背面からベルトを引き出します。ベルトを3ページ⑮で引き出した生地に付いているバックルに通して固定します。



③⑤ カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も一部形状は異なりますが同様に取り付けます。

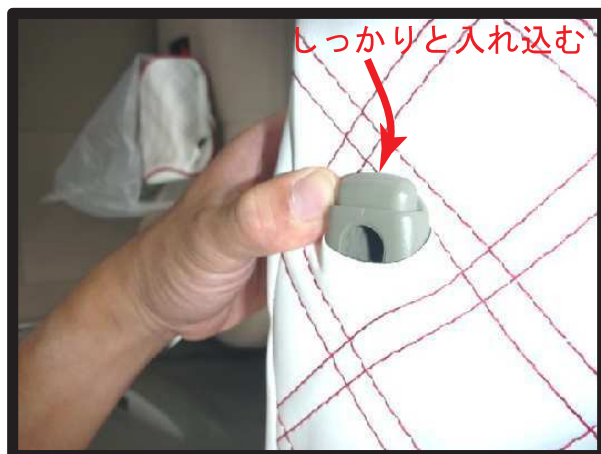


③③ ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。

# 1 列目背もたれ



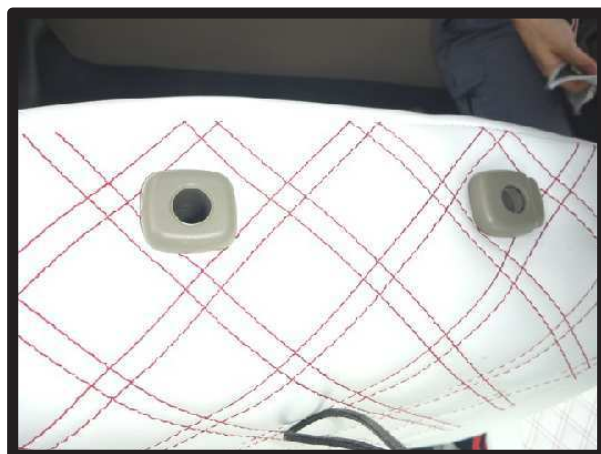
①カバーを半分程裏返して、シート  
のラインに合わせてかぶせます。この  
際、肩口部分の生地がしっかりと張  
るようにかぶせて下さい。



④ヘッドレストの台座をカバーの加工  
穴から取り出します。まず台座の片  
側のフチに生地をしっかりと入れ込  
みます。



②1ページの①で外した部分をめくり  
上げて、カバーの中へ入れ込みます



⑤生地伸びを利用して台座を取り出  
します。



③シートのラインからずれないように  
カバーを左右均等に引き下げて、シ  
ート全体にかぶせます。



⑥背もたれと座面の隙間に生地を入  
れ込みます。



⑦入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑩カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



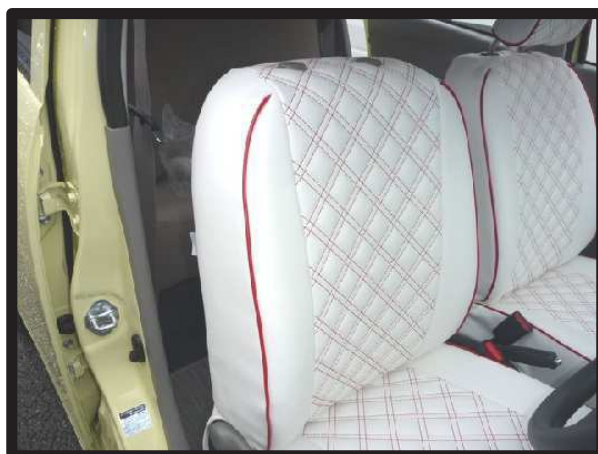
⑧①→②→③の手順で背もたれ側面の生地を、シートに馴染ませていきます。側面のシワが消えるまで繰り返し行って下さい。



⑪S字フックはシート裏の金属部分に引っかけて固定します。



⑨⑦で引き出した生地と、カバーの背面をマジックテープで固定します。

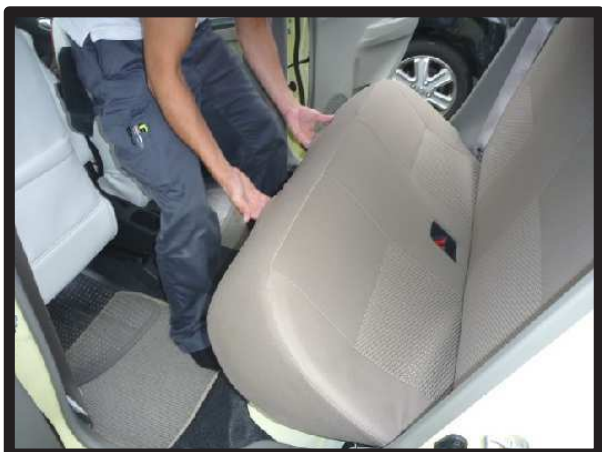


⑫カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

## 2列目座面



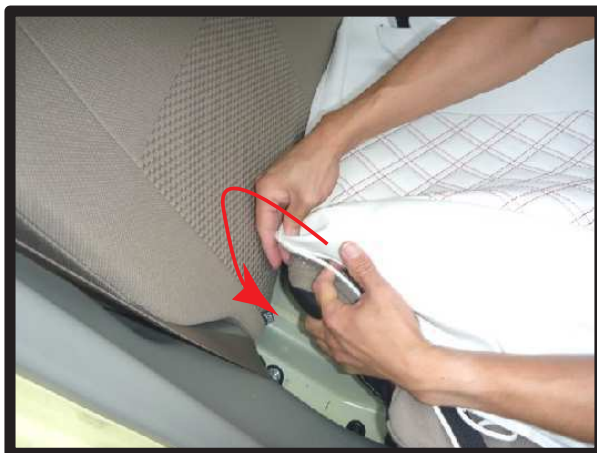
- ① 2列目座面は、シート前方のフックを外した状態でカバーの取り付けを行います。フックは図の矢印位置のシート裏2箇所固定されています。



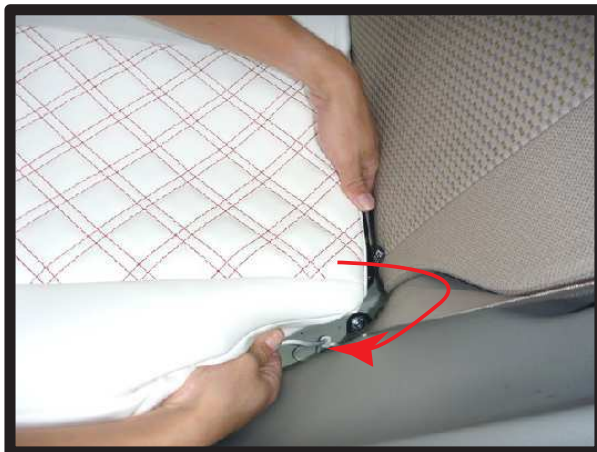
- ② シートを①の状態から真上に持ち上げることで、フックが外れてシート前方が持ち上がります。  
※フックが固い場合は、無理をせず片側ずつ外して下さい。



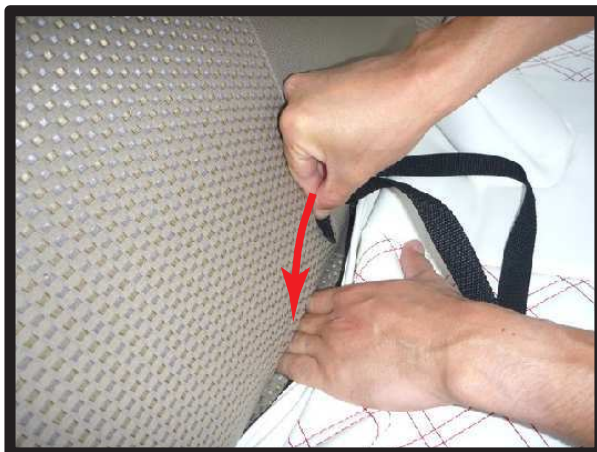
- ③ シートは車体から完全に外した方がカバーの取り付けは行いやすいのですが、図の矢印位置のフックが大変外れにくいので、このフックは外さずカバーの— 9 — 取り付けを行います。



- ④ 始めにシートの付け根の角にカバーをかぶせます。シートを左右にずらして、隙間を作りながら作業を行なって下さい。



- ⑤ もう片側のシートの付け根にもカバーをかぶせます。



- ⑥ カバーの後方に付いているベルトを背もたれと座面の隙間に入れ込みます(4本)。



⑦ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑩ シート前方を持ち上げて、7ページの⑥で入れ込んだベルトを引き出します。



⑧ カバーを裏返してシートのラインに合わせてみます。



⑪ ベルトをシート裏で固定します。



⑨ シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑫ カバー側面から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。

## 2列目背もたれ



- ⑬もう片側のヒモを作った輪に通してシート下回りを絞り込み結び留めます。



- ⑭シートを元の状態に戻します。シートベルトバックルのフチに生地を入れ込みます。



- ⑮しっかりとシートが固定されているかを確認します。カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。



- ①カバー背面のファスナーを完全に開けます。シートを固定するフックをカバーの加工穴に通します。始めに矢印位置の突起した部分から加工穴に通して、生地をしっかりと入れ込みます。



- ②生地伸びを利用してフック全体を通します。作業は慎重に行ってください。



- ③図のT型トルクスレンチがあれば、①②のフックを取り外してカバーの取り付けを行うことも可能です。





④カバー両側面の加工穴にフックを通して、図のようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑦背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地にはフックが付いているので、フックで生地を傷付けないようにご注意ください。



⑤カバー側面のファスナーを閉じます。生地を内へ寄せながら、ファスナーを慎重に閉じて下さい。



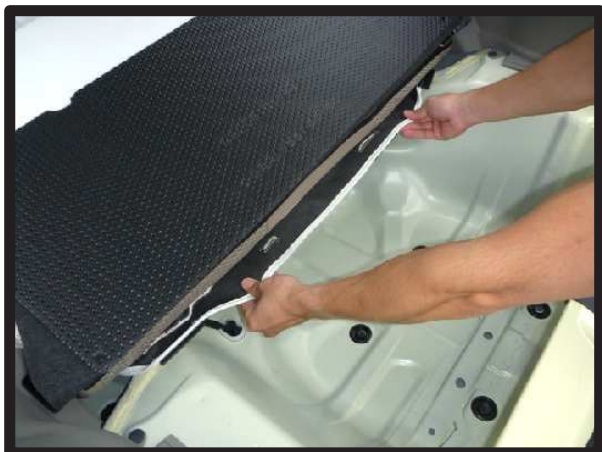
⑧シート背面のボードを取り出します。



⑥カバーの背面下です。カバーをシートに直接貼り付けて固定します。固定位置はシートの縫い目のラインに合わせて固定して下さい。



⑨工具等を入れているボックスを取り出します。



⑩⑦で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



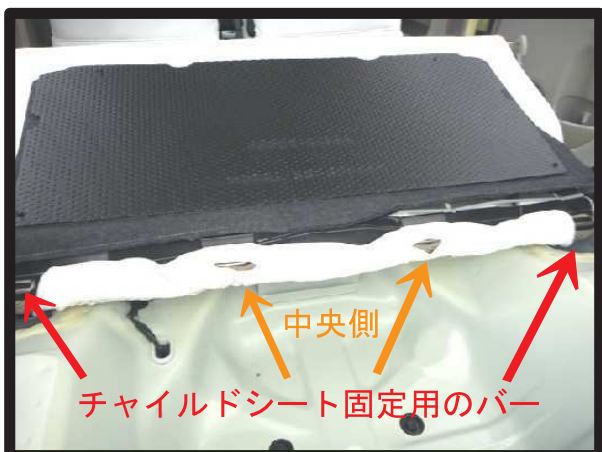
⑬シートを起こします。表面の生地が内へ寄っている場合があるので、カバーを側面の角に引っかけるようにして、シートのラインに合わせます。



⑪引き出した生地に付いているフックを、図の黒い生地に包まれている針金部分に引っ掛けて固定します。



⑭カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。



⑫シート背面下は図のようになります。両端のチャイルドシート固定用のバーには、生地がかからないようにして下さい。中央側のバーは加工穴に通して下さい。

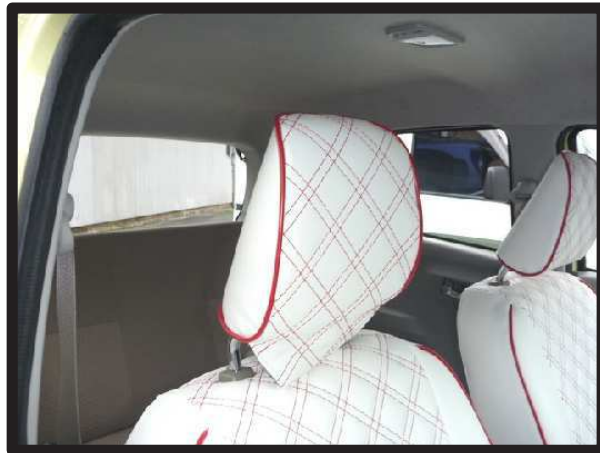
# ヘッドレスト



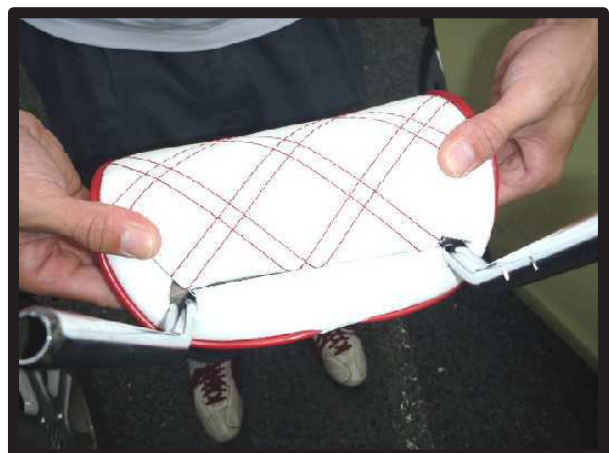
①カバーを裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。この際、ヘッドレストの先端の生地がしっかりと張るようにかぶせて下さい。



④フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地とともに折り返して挟み込み固定します。



②ヘッドレストのラインからずれないように、カバーを左右均等に引き下げてヘッドレスト全体にかぶせます。



⑤ヘッドレスト裏は図のように仕上がります。

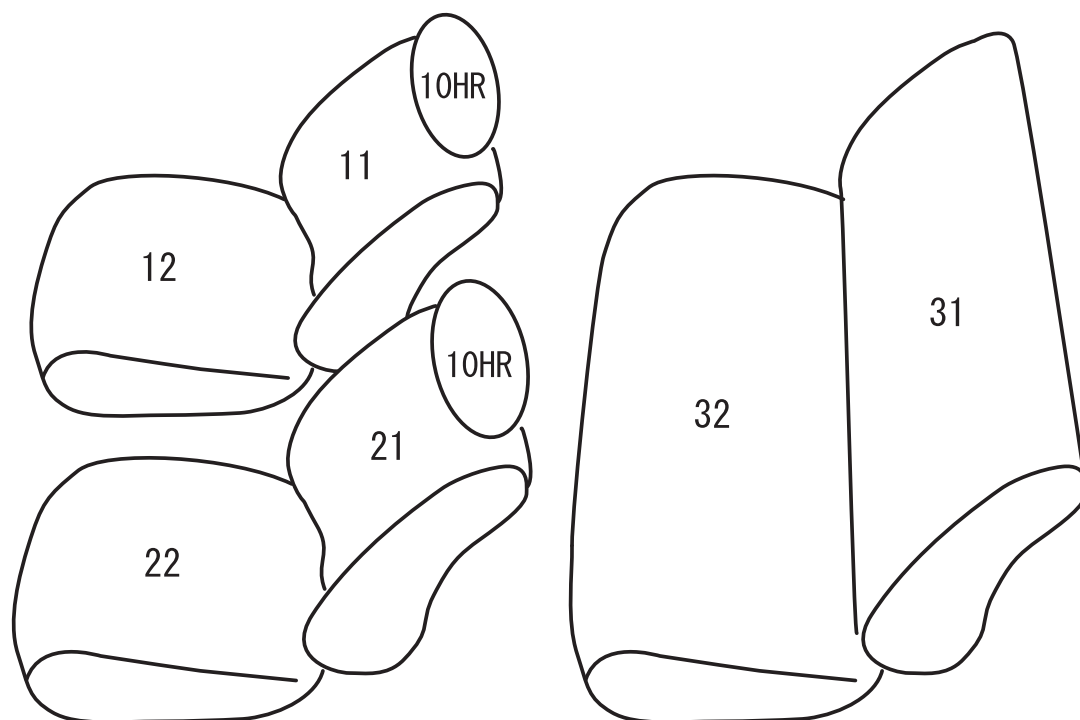


③ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏でフックを固定します。

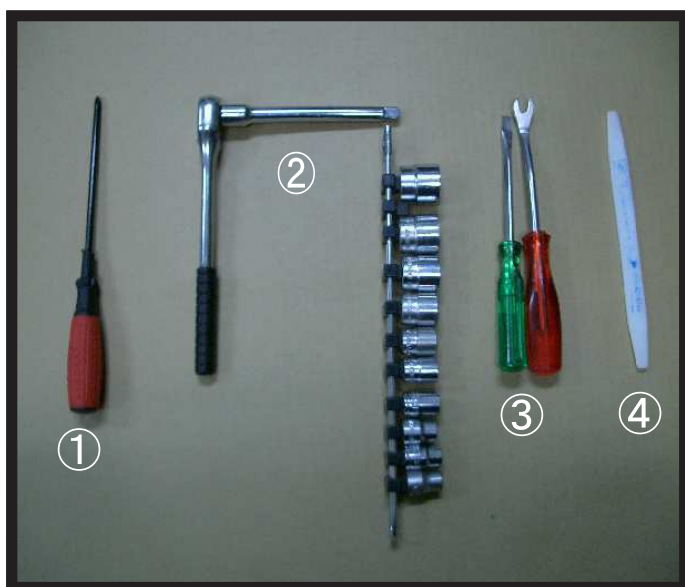


⑥ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、ヘッドレストの完成です。

# 本製品シート形状とパーツの名称



## 取付必要工具



### 工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ードライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

\*この車種では、③の工具は使用しません。